



昴の今日と明日Ⅱ

No.56, Dec.24, 2013 (編集・発行)昴☆共生社会研究所

Big なプレゼント

内田琢磨さん (デイセンターウィズ利用者)

ワールドデビューへ

来年はスイスと日本の修好 150 周年の記念の年だそう
です。それを祝う事業の一つとしてスイス・ローザ
ンヌで、日本の作家たちの作品を招待する「アール・
ブリュット・コレクション・スイス」が開かれる予定
です。その作品の一つに、デイセンターウィズの利用
者内田琢磨さんの作品が選ばれました。まさに、快挙
です。

一口メモ

「加工されていない、生のままの芸術」を
意味する「アール・ブリュット」という概念
は、フランスの美術家ジャン・デュビュッ
フェ (1901-1985) が 1945 年に提唱したもので
す。当時のフランス美術界のアカデミズム化
に反発したデュビュッフェは、精神障害者や
幻視者をはじめとする正規の美術教育を受け
ていない人々が内発的な衝動の赴くままに制
作した作品を高く評価し、既成の美術概念に
毒されていない表現にこそむしろ真の芸術性
が宿っていると
主張しました。

琢磨君の絵は何十冊もの学習ノートにびっしりと描
きこまれ、そこには地球の平和を守るといふ壮大なメ
ッセージが託されているそうです。彼の作品は昨年、
佐賀県で開催された全国障害者芸術文化祭典にも招待
されており、今回の世界進出につながりました。

こうしたアールブリュット展は近年、ヨーロッパの
各地 (フランス、オランダなど) で開催されており、
多くの日本人作家の作品が招かれています。



Merry X'mas

2013 年ももうすぐ過ぎ去ってい
こうとしています。来年はどんな
年になるのでしょうか？
いや、どんな年にしたいで
しょうか。

すばるセミナー2014

準備を進めている、すばるセミナー2014 の概要が決
定しました。

午前中、昴が厚労省の委託を受けて取組んでいる研
究事業「常時介護を要する障害者等の支援体制」につ
いて、その中間的な報告を事業担当者を代表して西
部・比企地域支援センターの丹羽所長が行います。

午後からはそれを受けてシンポジウム「暮らしつつ
けるために」を行います。パネリストは千葉で ALS の
患者さんたちの在宅生活を支える仕事に取り組む (株)
リベルタスの代表、伊藤佳代子氏、東京で強い行動障
害をもつ人たちにの支援を行う (NPO) 未来の事務局長
藤井亘氏、また、地元からはサービス利用者の立場で
小野川節子氏のお三方です。

そして、最後を締めくくる記念講演には元宮城県知
事の浅野史郎氏が登場します。

浅野史郎 (あさのしろう) 氏

1948 年 2 月生まれ、宮城県仙台市出身。東京大学法学部卒業。
1970 年厚生省 (当時) 入省。その後、在米日本大使館一等書記官、
厚生省年金課長補佐、北海道庁福祉課長等を経て、厚生省障害福祉
課長に就任。障害福祉をライフワークと思いつめる。1993 年、汚
職に揺れる故郷宮城に戻り知事に立候補当選。(3 期 12 年在職)
2005 年勇退後、慶應義塾大学総合政策学部教授に招かれ教壇に立
つ。2009 年成人 T 細胞白血病 (ATL) を発症し、骨髄移植手術で死
の淵より生還したが、まだ完治とは言えず闘病中でもある。慶應大
学を定年退職した現在、神奈川大学特別招聘教授の傍ら、テレビコ
メンテーター等でも活躍中。

2014 年 3 月 29 日 (土) 松山市民活動センター